



主催講座 12

新渡戸稲造の世界

講師 北海道大学名誉教授 三島 徳三

[経歴]

盛岡生まれ。札幌農学校二期生。米国、独国留学(22~29歳)：農政学等を研究。帰国後札幌農学校教授(30歳)、京都帝大教授、第一高校校長、東京帝大教授、東京女子大学長。国際連盟事務局次長。毎日新聞社編集顧問。公職多数。旧五千円札肖像画で有名。【武士道】出版(英文初版1900年)



[講座趣旨]

ニトベイナゾウは「忘れられた偉人」の部類に入りつつあるが、どっこい新渡戸稲造は、現代の日本と世界の諸問題を説くうえで多くの示唆をいまも与える。今回の講座では、あらためて彼の生涯と業績に光をあて、現代人が引き継ぐべき思想を確認する。

第1回 新渡戸稲造は何をしたか ~その生涯と仕事~ 開講日 10月23日(水)

新渡戸稲造は1862年(文久2年)生まれだから、本年は生誕157年である。1933年(昭和8年)に死去するまでの72年間、教育者、研究者、啓蒙家、役人、外交官として多くの仕事をしたが、その業績を振り返る。

第2回 新渡戸「武士道」と「日本人の精神論」~ 開講日 11月6日(水)

新渡戸の代表作である「武士道」は軍国主義が崩壊し、民主化した現代の日本でも読み継がれる価値がある。また米国での二度にわたる連続講演から「日本人の国民性」がリアルに浮かび上がる。その概要を学ぶ。

第3回 新渡戸稲造が現代に示唆するもの~ 開講日 11月20日(水)

新渡戸稲造は一般には国際主義者として知られているが、同時に祖国・日本をこよなく愛し、憂うナショナリストであった。彼が貫いた「共存と寛容」の姿勢こそが世界平和を実現するカギであることを確認する。

- ◆会場/花川北コミュニティセンター 2階 ◆講義時間 10:30~12:00(各回とも)
- ◆定員/50人 ◆受講料/カレッジ生1,200円一般1,500円(3回分,各回ごとの受講も可)
- ◆申込締め切り/令和元年10月9日(水)
- ◆申込み・問合せ/いしかり市民カレッジ事務局(石狩市公民館内)

TEL/FAX: 0133-74-2249 メール: kouminkan@city.ishikari.hokkaido.jp

※この講座は道民カレッジ連携講座です。

いしかり市民カレッ

検索